

MEDIA SHIP 表参道ヒルズ

## 新しい情報発信スペース、6月よりスタート！ 「OMOTESANDO HILLS POCKET」

### ■ デザイナー・アーティスト・クリエイターたちのポケットに見立てた小さな空間から、最新のアートやカルチャーなどを発信！

表参道ヒルズは、6月より、新しい情報発信スペース「OMOTESANDO HILLS POCKET (表参道ヒルズポケット)」をスタートします。場所は、本館地下3F中央のオープンスペース(45.1㎡)。今後はこの空間をデザイナー・アーティスト・クリエイターたちのポケットに見立て、まだまだ知られていない新鋭プロジェクトの発表や、若手アーティストによる作品展示、表参道・原宿を拠点とするクリエイターたちの実験の場など、わくわくするような新しい情報を発信していく基地として、様々な企画を実施していきます。

会場の基本構成及びロゴデザインは、新進気鋭の建築家、村山圭氏が率いるクリエイターユニット「PHAMILY(ファミリー)」が手掛けます。開業当初から数々のアートイベントを開催してきた表参道ヒルズ。今後もより多くの人々に最新のアートやカルチャーを身近に楽しんで頂けるよう、この小さな空間(=ポケット)から、日本そして世界に向けて様々な情報を発信して参ります。

OMOTESANDO  
HILLS  
POCKET

#### 村山圭 プロフィール (Space translator & Architect)

東京理科大学大学院理工学研究科建築学専攻修了後、建築や空間デザインなど様々なプロジェクトに携わる一方で、クリエイターユニット「PHAMILY(ファミリー)」を結成。デザインやプロダクト等、建築分野に留まらず様々な分野で活動中。

#### ■ 主なプロジェクト

「THE PHOTO / BOOKS HUB TOKYO 2011」表参道ヒルズ スペース オー、「STORE "JAPAN"」伊勢丹新宿 ザ・ステージ内 ポップアップストア、「篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN」東京オペラシティアートギャラリー、「蜷川実花写真展 LUCKY STAR NINAGAWA MEN & WOMEN」表参道ヒルズ スペース オー、「代官山 DESIGN BOOK 展 2013」代官山鳥屋書店などの空間デザインをはじめ、160人規模のシェアハウス「Higakosports」のラウンジ+スタジオ部分改装設計 等

#### ■ 「PHAMILY(ファミリー)」とは

2012年の夏に活動を開始し、「家族」をキーワードに人・時間・環境・食事など、枠に納まらない、空間にまつわる全てのことをプロデュース。オーダーメイドのウェディングにまつわる会場構成やプロダクトをはじめ、ディスプレイ、内装などの設計を手がけている。



### ■ 第一弾は、手芸歴34年・光浦靖子氏による手芸作品展「男子がもらって困る・子供がもらって、そうでもない ブローチ展」を開催！初の展示作品販売を実施

「OMOTESANDO HILLS POCKET」第一弾は、手芸歴34年・光浦靖子氏による手芸作品展を開催。趣味を超えたクオリティと誰にも真似できないオリジナリティを持った作品を作り続け、作品が掲載された手芸本を2冊発行している光浦氏。手芸が好きで、ただひたすら“夢と希望と愛を込めて”出来上がったブローチは数知れず。本展では、新作を含む100点を超える作品を展示します。また、「作品を購入したい」というお客様の要望にお応えし、今回は初の展示作品販売(新作ブローチ5点限定)を実施します。会期中には、光浦氏周辺の手芸好きで構成される「ブッス!!手芸部」(メンバー:部長・光浦靖子、とみこはん、quimcho、モリ夫、bucco)による物販も同時に開催。更には、千秋さんをゲストに迎えたトークショーのほか、光浦氏による手芸ワークショップも開催します。



#### 本件に関する報道関係の方のお問合せ先

表参道ヒルズPR事務局:小村・木暮 TEL 03-4574-6250 FAX 03-3265-5058  
森ビル株式会社 表参道ヒルズ運営室 プロモーションチーム:梅木  
TEL 03-3497-0292 FAX 03-3497-0318

# 「男子がもらって困る・子供がもらって、そうでもないブローチ展」

## <開催概要>

- タイトル：「男子がもらって困る・子供がもらって、そうでもないブローチ展」
- 期間：6月5日(木)～6月22日(日) ■問合せ：03-3497-0310(総合インフォメーション)
- 時間：11:00～21:00 ※日曜は～20:00 ■主催：表参道ヒルズ
- 場所：本館B3F OMOTESANDO HILLS POCKET ■協力：株式会社プロダクション人力舎
- 入場料：無料
- 内容：※展覧会の最新情報はこちら <http://www.omotesandohills.com/event/>

## 展示内容

- ・新作を含む100点を超える作品展示
- ・「ブッス!!手芸部」メンバーのパネルを背景に記念撮影できるフォトスポット等

## イベント

### ①光浦靖子 書籍サイン会&トークイベント

6月7日(土)14:00～トークイベント(ゲスト:千秋) / 14:30～書籍サイン会  
 ※会期中に書籍を購入された方に先着で整理券を配布します。

### ②光浦靖子 手芸ワークショップ

6月21日(土)第一回 14:00～15:30 / 第二回 16:00～17:30 ※参加費 3,000円 限定各回 20名  
 ※会場にて受付し先着順となります。

## グッズ販売

- ・初の展示作品販売(新作ブローチ5点限定)
- ・書籍「男子がもらって困るブローチ集」「子供がもらって、そうでもないブローチ集」等
- ・「ブッス!!手芸部」による作品販売

## 【展示作品例】



写真:池田晶紀(ゆかい)

### ※新作ブローチ(一例)



## 【書籍】



2012年6月刊



2014年1月刊

## 光浦靖子氏より、本展についてコメント

40も越え、結婚もせず、恋人もいませんと、時間が余ります。愛情と母性の行き場がありません。ので、ブローチを作りました。あの人にあげたら喜ぶかしら？ あの人のはこんなのが好みよね、と一方的な思いを一針一針に込め、それはもう念に変わってゆきました。念のこもったブローチは、やっぱり男性ウケは悪いです。重い、という単語一つで片付けようとして、5年ほど作り続け、今度は子供にターゲットを変えました。子供は喜んでくれました。が、持続性はなく、アイツらはやっぱりプラスチックの玩具が好きなのです。

子供のころ、遊びに行った友達の家でセブンスターのに空き箱で作った傘が飾られていました。これどうしたの？ と聞くと、友達が嫌そうな顔をしながら「おばあちゃんが作ったの」と言いました。ピアノの上には黒いウイスキーの空きビンに毛糸の三つ編みをつけた人形が置かれていました。恥ずかしそうな顔で「おばあちゃんが作ったの」と言いました。良かれと思って作ったモノが良かれではない！！ いらぬモノからよりいらぬモノが作られている！！ 私は異常に興奮しました。私はこういう大人になりたいと思いました。報われない愛、清らかな心がここにある！ と思いました。私も清らかな心しか込めてません。手芸は至福の時です。

### 「ブッス!!手芸部」とは？

海外の美術館で展示される作品等を生み出す、様々な職業の男たちからなる手芸集団「押忍!手芸部」。作品はちょーオシャレ。その、「押忍!手芸部」に憧れて、みんなで手芸したら楽しいだろうな、と。手芸が好きで、夜が長くて困っている女たちを集めたら偶然ブサイクが多かった。誰かが言った。「これじゃ、ブッス手芸部じゃん」。それが始まり。押忍の部長にブッスを名乗っていいですか？ と聞くと、いーよー、と軽くお許しができました。初期メンバーは、部長・光浦靖子、とみこはん、quimcho(キムチョ)、モリ夫、bucco(ブッコ)の計5名。



## 光浦靖子 プロフィール

小学生の頃、フェルトマスコット人形家の大高照美先生の熱烈なファンとなりフェルトマスコットばかり作るようになる。友人の誕生日にフェルトマスコットを作っては配る活動をする。成人し、ミシンを手に入れてからは、周りの女性に巾着袋を配る活動に。7年前ニードルフェルトと出会ってからブローチばかり作るようになり、2012年に初の手芸本「男子がもらって困るブローチ集」を発表。2014年には手芸本第二弾「子供がもらって、そうでもないブローチ集」(スイッチパブリッシング刊)が発表され現在に至る。作品はファッション合同展示会 rooms等で展示され、ファッション関係者からも注目を集める。